

問

村長発言 「拒否権はない」、真意は

答

私の考えが正しく伝わらなかった



みすずの会
あべ こうし 議員
阿部 功志

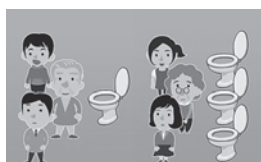
問 スフィア基準に沿った避難計画を

問 新安全協定について村長は「自治体に拒否権はない」と発言。これは原子力立地地域首長懇談会の成り立ちに反し、住民を第一に考えていない。真意は。

答 私の考えが必ずしも正しく伝わらなかったことは残念。

問 村長の考えについて詳しい説明がなかったのは残念。では「拒否権」の首長懇談会の解釈は。

答 一市村でも了解できなければその先へは進まない、という認識。



スフィア基準では広さは一人当たり3.5㎡必要
女性のトイレは男性の3倍必要

問 居住の広さの調整は時間がかかる

問 避難計画を国際基準の「スフィア基準」に沿って見直すことは。

答 内閣府作成の避難所運営ガイドラインにもあり、反映できるものも反映したい。トイレは避難長期化の際の「20人に1基」を踏まえ、簡易トイレの活用や協定締結先からの調達で、駐車スペースは校庭、最寄りの公共施設も検討する。一人当たりの居住スペースと避難所の指定は避難先自治体と協議するが、調整には時間がかかる。公営住宅や賃貸住宅などを利用する。

問

歴史館 村民の心配は何だと思うか

答

財政運営やサービス削減への不安



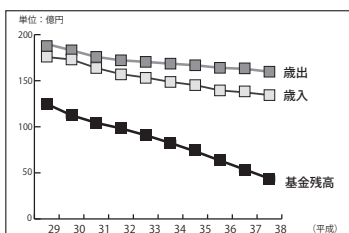
みすずの会
えだ いっむ 議員
江田 五六

問 (仮称) 歴史と未来の交流館建設に対して、村民は何を一番心配していると思うか。

答 村の財政運営や住民サービス削減への不安などの財政問題が一番大きいと理解している。

問 村長は、財政について村民に説明すると言っている。ならば、村民が納得できるまで工事を中断すべき。

答 工事を継続しながらも、財政調整基金の繰入や積立などを含む村全体の財政面について説明し、理解を得ていく。



東海村長期財政見通し (平成29年度～平成38年度)
各年度の歳入不足に対応するため、財政調整基金を取り崩すことを見込んでいる。

問 歴史館建設は70年間の長期にわたる計画である。そこまでの長期ビジョンでの財政見通しが必要と考えるが。

答 村は10年間の長期財政見通しを立てているが、時点ごとにその都度状況を把握して財政運営を行っている。

問 村長の在任期間の短期見通しは心配ないが、子の世代で50年、孫の世代で80年、本村に住み続けることになる。10年程度の見通しでは建設すべきでない。

答 長期スパンでの試算は難しいが、自治体が存続していくためには財政的な裏づけが必要と考えている。